

高幡地域アクションプランの進捗状況等

H 2 6 . 9 . 4
高幡地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

本年4月には、産業振興総合補助金を活用した2つの施設が相次いでオープンするとともに、新たに追加されたアクションプランにおいても、生産や販路の拡大に向けて積極的に動き出している。

25年度にシイラ加工食品のヒット商品を生み出した「けんかま」では、県外への販路を拡大しながら好調な売上を維持しているほか、他のアクションプランにおいても、産業振興アドバイザーや各関係機関の支援策を活用しながら、商品開発や販路拡大に挑む姿勢が活発化している。

観光分野では、昨年度設置された行政、民間、関係団体からなる広域観光組織の活動が活発化しており、28年度開催予定の地域博覧会の名称を「2016奥四万十博」に決定し、今後、運営組織の体制づくりや事業計画の策定に取り組むこととしている。

また、5月に開催された産業振興シンポジウム須崎会場には、300人を超える参加があり、須崎市では7月に須崎市産業振興計画検討委員会が設置されるなど、高幡地域内での産業振興に関する意識の高まりがみられる。

(2) 具体的な動き

① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>まとまりのある産地づくり</p> <p>■No.1 地域基幹園芸品目の生産振興と農家の所得向上（須崎市、中土佐町、津野町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 土佐くろしお ・ J A 四万十 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>主要農産物販売額：H27 園芸年度 56.8 億円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>主要農産物販売額：H26 園芸年度 56 億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>主要農産物販売額：H25 園芸年度 53.8 億円→実績 55.9 億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地検討会、目慣らし会等（32 回開催） ・ 栽培及び低コスト現地実証圃の調査・検討（25 ヲ所） ・ I P M 技術実証圃の調査・検討（6 ヲ所） ・ 排液及び循環型処理装置の実証・検討（6 ヲ所） <p>[課題と今後の対応]</p> <p>栽培技術の定着化</p> <p style="padding-left: 20px;">⇒実証圃の調査・検討の継続実施、 技術マニュアル等の作成</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 中山間地域での持続可能な農林業経営の確立(梶原町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA津野山</p>	<p>[目標(H27)]</p> <p>農協取扱主要品目売上:5.9億円 所得400万円以上の農家数:5戸</p> <p>[H26到達点]</p> <p>農協取扱主要品目売上:5.6億円 所得400万円以上の農家数:5戸</p> <p>[H25到達点]</p> <p>農協取扱主要品目売上:5.3億円→実績5.0億円 所得400万円以上の農家数:4戸→実績5戸</p> <p>[取組状況]</p> <p>・栽培指導(7月末) 栽培講習会11回、現地検討会7回、実証圃・モデル園設置5カ所、個別巡回指導等52回</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>平坦地なみの所得をあげるための進捗管理 ⇒個別巡回指導等の継続実施</p>
<p>■No.3 基幹品目等の維持・発展による地域農業の活性化(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA四万十</p>	<p>[目標(H27)]</p> <p>ニラ販売金額:10億円</p> <p>[H26到達点]</p> <p>ニラ販売金額:9.3億円</p> <p>[H25到達点]</p> <p>ニラ販売金額:9.3億円→実績8.1億円</p> <p>[取組状況](7月末)</p> <p>・現地検討会等の開催 ミョウガ3回、ピーマン6回、ニラ12回、露地ショウガ4回</p> <p>・JAと連携した品目別経営分析説明会の開催 5品目(ミョウガ、ピーマン、ニラ、キュウリ、水耕切) 参加率21%</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>収量・品質の向上 ⇒こうち新園芸システムと連携した取り組みにより、現行栽培技術の検証と新たな技術組立による更なる収量・品質向上</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>森を活かす取組</p> <p>■No.17「四万十ヒノキ」のブランド化を主体とした地域森林資源の有効活用 (中土佐町、四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町森林組合 ・須崎地区森林組合 ・四万十町内製材業者 <p>■No.18「1億円産業の復活」をスローガンとする津野山産原木シイタケの産地化の推進 (梶原町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・J A津野山 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>四万十ヒノキのブランド品販売 ：原木 9,000 m³、製品売上高 2.7 億円</p> <p>F S C 等認証森林面積：5,700ha</p> <p>F S C 認証材製品売上高：20 百万円</p> <p>J A S 認定工場：1 社増設</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>四万十ヒノキのブランド品販売 ：原木 9,000 m³、製品売上高 2.7 億円</p> <p>F S C 等認証森林面積：5,700ha</p> <p>F S C 認証材製品売上高：12 百万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>四万十ヒノキのブランド品販売 ：原木 7,000 m³、製品売上高 2.5 億円 →実績 原木 8,486 m³、製品売上高 3.8 億円</p> <p>F S C 等認証森林面積：5,644ha→実績 5,650ha</p> <p>F S C 認証材製品売上高：10 百万円→実績 10 百万円</p> <p>[取組状況] (7 月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外商活動延べ 108 回 (県内 68 回、県外 40 回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顧客のニーズに応じた商品の開発・改良 ⇒アンケート等を実施して、商品の問題点等を検討 <p>[目標 (H27)]</p> <p>乾燥シイタケの販売量：11t</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>乾燥シイタケの販売量：10t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>乾燥シイタケの販売量：8.9t→実績 6.6 t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県椎茸品評会への出展 (5 月) ・全農全国椎茸品評会への出展 (6 月) ・産業振興アドバイザーによる講演会及び助言指導の実施 (6/28) ・生産者部会による販売戦略の検討予定 (9 月) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>1 億円産業に向けた戦略の策定 ⇒ J A 担当者や生産者部会と協議</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 21 循環型社会の構築を促進するための 森林資源の有効活用 (梶原町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梶原町森林組合 ・梶原町 ・ゆすはらペレット(株) 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>木材生産量 : 5,000 m³ 認証材の販売量 : 1,600 m³ ペレット原材料の調達 : 3,900t ペレット生産量 : 1,700t</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>木材生産量 : 3,000 m³ 認証材の販売量 : 1,500 m³ ペレット原材料の調達 : 3,900t ペレット生産量 : 1,700t</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>木材生産量 : 2,800 m³→実績 2,013 m³ 認証材の販売量 : 1,400 m³→実績 1,486 m³ ペレット原材料の調達 : 3,900t→実績 2,854 t ペレット生産量 : 1,700t→実績 1,411 t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業活動延べ 35 回 (県内 16 回、県外 19 回) ・ペレット生産に関する協議 (8 回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ F S C 認証材の知名度の向上 ⇒営業活動の充実
<p>地域の特産品を活用した商品づくり</p> <p>■No. 5 葉にんにくを活用した加工食品の生 産・販売の拡大 (須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株) アースエイド 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>売上額 : 20,000 千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>売上額 : 5,000 千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示商談会、販促相談会 (Mart×日本アクセス おいしい もの再発見プロジェクト等) への参加 (10 件) ・ネット通販 (オイシックス等) の開始 (2 社) ・商品開発 (2 品目) ・新規取引開始 (7 件) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>販路開拓と商品開発 ⇒メディア戦略等による消費者への認知度向上</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 13 四万十の栗再生プロジェクト (四万十町)</p> <p>《事業主体》 ・四万十の栗再生プロジェクト推進協議会</p>	<p>[目標 (H27)] 原材料供給量 (JA 集荷量) : 100 t</p> <p>[H26 到達点] 原材料供給量 (JA 集荷量) : 60 t</p> <p>[H25 到達点] 原材料供給量 (JA 集荷量) : 80t→実績 22 t</p> <p>[取組状況] <ul style="list-style-type: none"> ・推進協議会(2回)、栗振興大会(1回)の開催 ・生産者への栽培指導及び特選栗の認定基準の見直し ・「四万十の栗」の認知度向上のためのマスコミ等への露出 地方版、全国版のTV(6社9回)、新聞(3社7回)、 タウン誌等(6回) ・「おちゃくりカフェ」4/26オープン 売上高: 約8,000千円 来店者数: 4,433名(7月末) </p> <p>[課題と今後の対応] 生産者の意欲向上と集荷体制の確立 ⇒特選栗の認定基準見直しによる買取価格の安定化、集荷 事業の導入</p>
<p>■No. 30 シイラ加工の生産体制の強化 (四万十町)</p> <p>《事業主体》 ・四万十町 ・興津漁協四万十マヒマヒ丸企業組合 ・興津漁協</p>	<p>[目標 (H27)] 加工品販売金額 : 15,000 千円</p> <p>[H26 到達点] 加工品販売金額 : 15,000 千円</p> <p>[H25 到達点] 加工品販売金額 : 15,000 千円→実績 12,690 千円</p> <p>[取組状況] <ul style="list-style-type: none"> ・通常総会開催(6/4) ・水産加工業者との連携事業に係る意見交換(2社) ・イベントへの出店(1回) ・従業員の常勤雇用(2名) </p> <p>[課題と今後の対応] <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な原魚の確保及び経営管理、生産体制の強化 ・新規取引先の確保 ⇒原魚の不足時における他所からの購入、 水産加工業者等と連携した販路拡大の取り組み </p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■NO. 31 シイラ加工食品の生産拡大 (四万十町) 《事業主体》 ・(株)けんかま</p>	<p>[目標 (H27)] フィレ取扱数量 : 34t</p> <p>[H26 到達点] フィレ取扱数量 : 25t</p> <p>[H25 到達点] フィレ取扱数量 : 25t→実績 17t</p> <p>[取組状況] ・こうち農商工連携事業によるアドバイザーの招聘 (6回) ・フィレ取扱数量 (7月末) : 3.2t ・シイラを使った竹輪の売上(7月末) 1,021,100本 16,347千円 (前年同期比 129.3%)</p> <p>[課題と今後の対応] 競合他社製品との差別化を図る仕掛け ⇒量販店との商談など営業力の強化</p>
<p>■NO. 34 「中土佐のうまいもん食わしちやお」 商品開発プロジェクト (中土佐町)</p> <p>《事業主体》 ・企画・ど久礼もん企業組合</p>	<p>[目標 (H27)] 開発する商品数 : 5商品 売上高 : 28,000千円</p> <p>[H26 到達点] 開発する商品数 : 2商品 売上高 : 28,000千円</p> <p>[H25 到達点] 開発する商品数 : 2商品→実績 3商品 売上高 : 28,000千円→実績 34,801千円</p> <p>[取組状況] ・新商品試作 (2商品) ・売上 (7月末) 店舗 : 3,227千円 (前年比 183.9%) 全体 : 9,917千円 (前年比 68.3%) ・商談会及び営業活動 (5回) ・イベント等への出店 (7回) ・取材、視察対応 (4回)</p> <p>[課題と今後の対応] 販売体制の強化と経営改善 ⇒産業振興アドバイザーの導入</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>6次産業化への取組等による拠点ビジネス</p> <p>■No. 36 津野町地産地消・外商販売戦略 (津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとセンター ・津野町 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>高知店販売額：90 百万円 総販売額：162 百万円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>高知店販売額：90 百万円 総販売額：160 百万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>高知店販売額：90 百万円→実績 87 百万円 総販売額：156 百万円→実績 154 百万円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知店販売額（十津店、瀬戸店、満天の星直販部門） 売上高（7月末）：30,268 千円（対前年比 116%） ・総販売額（上記高知店 3カ所及び町内 3カ所） 売上高（7月末）：53,147 千円（対前年比 105.0%） ・直販所連絡会（4回）、関係者経営会議等（4回）での売上高の分析、改善強化などを実施 ・新商品の販売開始(7/9～)：茶茶、茶ぼたん ・イベントの実施（2回） <p>※（株）満天の星（加工所及びアンテナショップ） 売上高（7月末）：70,055 千円（対前年比：113.3%）</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>高知店、直販全般の戦略見直し ⇒外部専門家への委託による販売戦略の再構築</p>
<p>■No. 37 四万十町拠点ビジネス体制の強化 (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)あぐり窪川 ・四万十町 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>地域産品・土産品等の磨き上げ及び新商品開発 ：5 品目以上</p> <p>道の駅あぐり窪川販売金額：4.2 億円 アンテナショップ販売金額：4.5 千万円 常勤雇用者数：3 名</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>地域産品・土産品等の磨き上げ及び新商品開発 ：5 品目以上</p> <p>道の駅あぐり窪川販売金額：3.5 億円 アンテナショップ販売金額：4.4 千万円 常勤雇用者数：3 名</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>地域産品・土産品等の磨き上げ及び新商品開発 ：5 品目以上→実績 5 品目以上</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>道の駅めぐり窪川販売金額：3.5億円→実績3.2億円 アンテナショップ販売金額：4.3千万円→実績4.1千万円 常勤雇用者数：3名→3名</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販促イベントの実施(4回) ・生産者向け「蔵ニュース」の発行(8回) ・道の駅めぐり窪川(5月末)売上高：48,961千円 (前年同期比82.3%) ・アンテナショップ しまんとマルシェ「四万十の蔵」 売上高(7月末)：12,806千円(前年同期比114.4%) ・常勤雇用者数：3名 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>情報発信機能の充実 ⇒産地とアンテナショップとの定期的な交流</p>
<p>中心市街地の賑わいづくり</p> <p>■No. 32 大正町市場商店街活性化事業(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大正町市場組合 ・中土佐町商工会 ・中土佐町 	<p>[目標(H27)]</p> <p>大正町入込客の増加(浜ちゃん食堂)：28,000人</p> <p>[H26到達点]</p> <p>26,000人</p> <p>[H25到達点]</p> <p>26,000人→実績24,118人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜ちゃん食堂入込み客数(7月末)：7,650人(前年比83.6%) ※6月に10日間臨時休業有り ・大正町市場組合に地域おこし協力隊を導入 ・百円市イベント開催による地元客による賑わいづくり (毎月第4金曜日) ・空き店舗の活用：5月から1店舗出店 ・アドバイザーを招聘し商店街活性化に向けたワークショップ等の実施(2回) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>地元住民の参画による商店街活性化と情報発信の強化 ⇒関係機関と連携した仕組みづくりとフェイスブックの活用</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>滞在型、体験型観光の推進</p> <p>■No. 38 高幡地域における広域観光の推進(高幡地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高幡広域市町村圏事務組合(高幡広域観光推進本部) <p>■No. 39 須崎市の教育旅行や団体旅行の誘致に向けた体制の整備(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須崎市観光協会 ・NPOすさきスポーツクラブ 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>主要観光施設入込客数：372,000人 宿泊数：40,000人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>主要観光施設入込客数：367,370人 宿泊数：39,421人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要観光施設入込客数(6月末)：64,061人 (前年度比：73.5%) ・宿泊数(6月末)：8,604人(前年度比：88.8%) ・高幡広域観光推進本部会の開催(4回) ・講演会の開催(1回) ・県外へのセールス活動(4回) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>効率的な観光情報の集約 ⇒ホームページの作成</p> <p>[目標 (H27)]</p> <p>民泊受入世帯数：100世帯 教育旅行受入数：10,000人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>民泊受入世帯数：100世帯 教育旅行受入数：5,000人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>民泊受入世帯数：100世帯→実績61世帯 教育旅行受入数：5,000人→実績5,176人</p> <p>[取組状況] (7月末実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民泊受入世帯の新規開拓訪問件数：10軒 ・民泊受入世帯数：1軒増加(合計62軒) ・教育旅行等の受入件数：11件 うち民泊受入：1校115人 うち体験受入：1,370人 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>民泊受入世帯の増加 ⇒受入世帯100世帯に向けた営業活動の実施</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■NO.43 わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町 ・(株)海洋堂 ・(株)奇想天外 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>ホビー館の1年間入場者数：50,000人 常勤雇用者数：3人</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>ホビー館の1年間入場者数：50,000人 常勤雇用者数：3人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ホビー館の1年間入場者数：50,000人→実績 65,395人 常勤雇用者数：3人→実績 3人</p> <p>[取組状況] (7月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入館者数 16,990人 対前年比 59.1% のべ入館者数 232,227人 (H23.7.9～H26.7.31) ・企画展開催 (3回) <ul style="list-style-type: none"> 「昭和の面白コレクション 高橋俊和 ぼくのタイムスリップ展」H26.3.21～H26.6.16 「漫画コーナー」H26.3.21～H27.3.31 「松村しのぶ ネイチャーワールド」H26.7.5～H26.9.1 ・イベントの開催 (8回) ・広報活動(4回) <ul style="list-style-type: none"> ※海洋堂かっぱ館入場者数 6,874人 (5.20～7.19 臨時休館) のべ入場者数 90,176人 (H24.7.7～H26.7.31) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋堂ホビー館を拠点とした滞在型観光の仕組みづくり ⇒観光協会や地元団体等との連携強化

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.14 滞在型市民農園等を活用した四万十町の移住を受け入れやすい風土づくり(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町 ・営農支援センター四万十(株) 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>施設稼働率：90% 移住者数：15組</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>施設稼働率：90% 移住者数：15組</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>施設稼働率：90%→実績 97.4% 移住者数：8組→実績 17組</p>

<p>■NO. 26 浦ノ内湾産養殖マダいの販路拡大 (須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県漁協深浦支所 ・土佐鯛工房 ・乙女会 ・(株) 大東冷蔵 ・(有) 小島水産 <p>■NO. 29 中土佐町地域ブランドの創出と販売 促進 (中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中土佐町 	<p>[取組状況] (7月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラインガルテン四万十の入居状況 滞在型 22 棟 うち利用：全棟 日帰型 16 区画 うち利用：15 区画 ・ お試し滞在住宅運営状況 大正中津川：1 組、広井：3 組 ・ 移住相談窓口の増設 (土日、祝日対応) 相談件数 本庁：97 件 サテライト：11 件 計 108 件 ・ 空家調査 8 回 ・ 移住実績 8 組 12 人 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入居者の移住に繋がる仕組みづくり ⇒地域住民との交流促進、サポート体制の整備 <p>[目標 (H27)]</p> <p>販売数量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土佐鯛工房： 約 8 万尾 ・ 乙女会 : 約 5.5 万尾 <p>[H26 到達点]</p> <p>販売数量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土佐鯛工房：7.5 万尾 ・ 乙女会 : 5 万尾 <p>[H25 到達点]</p> <p>販売数量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土佐鯛工房： 7 万尾→実績 7.5 万尾 ・ 乙女会 : 4.5 万尾→実績 4.5 万尾 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各グループによる県内・外各地への販促活動 商談会への参加 (2 回:高知県内、東京) 県外量販店で直売会開催(3 回：山口 1 回、大阪 2 回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ブランド魚 (海援鯛、乙女鯛) の安定した販売先の確保 ⇒積極的な営業活動の実施 <p>[目標 (H27)]</p> <p>商品販売高 25,000 千円</p> <p>[H26 到達点]</p> <p>商品販売高 14,962 千円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>—</p>
--	--

	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「びんび鯉のタタキ」予約販売(7月末) : 126セット 1,037千円 (前年対比:154%) ・「びんび鯉のタタキ」をイベントでPR : 東京1回、大阪1回、岡山1回 計3回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産加工場の整備と事業体制の安定化 ⇒漁協等との連携強化
--	---

2 平成26年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位:千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No.26 浦ノ内湾産養殖マダいの販路拡大(須崎市)</p> <p>※ステップアップ事業(水産振興部対応)</p>	<p>・販促資材作成、販路開拓のための営業活動の実施</p>	952(442)

3 地域アクションプランの追加、修正、削除(予定)項目

[追加] ■JA土佐くろしおが担う地域農業の活性化(須崎市、中土佐町、津野町)

地域の農業者の作業軽減及び農地の維持等を目的にJA出資農業生産法人による作業受託組織を設立し、効率的な組織運営とコスト削減を図る。

2つの直販所を移転統合、拡充して、地域農産物や地元食材を活かした惣菜、加工品の販売を行い、農業者の所得向上を目指す。

4 県民参画に向けた取組

○産業振興計画シンポジウムのPR、案内(5月)

・須崎市広報誌への掲載

・地域アクションプラン事業者、地域団体(JA、森林組合、商工会議所、観光協会等)、金融機関、民間事業所等への案内

○JA津野山での第2期計画Ver3の説明(4/28)

○土佐MBAへの参加の働きかけ

(株)アースエイド、桐島畑、(株)十和おかみさん市 など

5 相談案件:6件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/12	食品加工	地域原材料を活用した商品開発
2	4/28	水産業	陸上養殖について
3	5/8	食品加工	豚肉の加工事業について
4	5/17	食品加工	桜酒について
5	6/6	農業	直販所の整備について
6	6/14	食品加工	栗の葉の活用について

有望素材シート（26年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	須崎市、中土佐町 津野町	素材名	水稻、ミョウガ、キュウリ、シシトウ、インゲン、ニラ、オクラ、花卉、柑橘類、ビワ等
		関連素材	
現状・課題	<p><現状></p> <p>1 個別担い手の確実な減少</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後、農業従事者の高齢化も一段と進行し、リタイア組をカバーする新規個別就農者の確保は実際には困難。（特に水稻栽培） 耕作放棄地はほとんどが水稻で、露地、果樹等の農作物。ハウス面積は、緩やかな減少。（ハウス農家数はやや減少するものの、1経営体の経営面積が増えるとの予測） 農地を維持していく集落営農が十分進まないことに加え、農地集積・利用を担う地域の受け手となる農家も減ってきている。 個々の農家の農地の維持にも限界があり、このままでは生産力が大幅に減退。（J Aが行っている事業の利用が減少し、求心力低下は避けられない。） <p>2 農産物直販所の売上の減少</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内でJ Aが関係する農産物直販所は、「くろしお市」「みのり市」「かわうそ市」「あさぎり市」がある。（H25年度：出荷会員数合計は346名、販売額計232百万円） そのうち「くろしお市」と「みのり市」は、生産者が主体となって経営されており、他店との競合、出荷者の高齢化やPOSシステム未整備（みのり市）等の問題があり、出荷会員の運営参画の負担が増加、会員数の減少でピーク時の約半分の売上である。（H25年度2店計：出荷会員数合計は154名、販売額計95百万円） 2店舗は、経営の改善が必要であるが、資金面や設備、敷地スペース等の制約があり、また、個々の施設を改修して単独で経営することは非常に厳しい。 J A本所（大間）移転。（跡地の活用について検討する中、当地域は、サラリーマンの昼食需要、独身高齢者への惣菜販売、大間駅利用者（主に学生）等の需要が見込まれる立地であることから、J Aが運営する直販所を設置し、地元食材を活かした惣菜、加工品販売による農業者の所得向上や地域に貢献できる取組が望まれている。） <p><課題></p> <p>1 農地の保全を図るための仕組みづくり</p> <p>2 農業者を元気にさせる農産物直販施設の改善 地域産物を活かした新たな惣菜・加工品づくりによる農業者の所得向上</p>		
	方向性の	<p>1 家族経営・共同組織（集落営農・受託組織等）を補完する、経営の持続性のある新たな法人の設置 J A出資農業生産法人の作業受託による農業者の作業軽減、農地維持及び共同利用施設（育苗・施設等）の効率的な運営</p> <p>2 農産物直販所、農家レストラン（加工施設）設置による販売施設の充実による農業者の所得向上 地域食材を中心とした惣菜等の販売と施設内飲食コーナー設置による地域住民等の利用しやすい環境の提供による購入機会の創出</p>	

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	J A土佐くろしおが担う地域農業の活性化				
	関係市町村名	須崎市、中土佐町、津野町				
事業の概要	<p>1 J A出資農業生産法人の農作業受託等による地域の農業者の作業軽減及び農地の維持 共同育苗施設の運営体制の整備、農作業受託体制の円滑化に向けた機械・設備の整備、地域の農地を活用した農業経営の実施</p> <p>2 地域素材を活用した直販所、農家レストラン（加工施設）等の運営による農業所得の向上及び地域の活性化 本所跡地等を活用し、農産物（野菜、果実）の直販コーナーの拡大と地域食材を活用した惣菜の販売など機能の拡充に必要な直販所・農家レストラン（加工施設等）の施設整備を行う。</p>					
事業主体等	J A土佐くろしお					
	【関係機関】 須崎市、中土佐町、津野町					
主な内容・スケジュール	取組手順	事業実施【H26】	1年後【H27】	2年後【H28】	3年後【H29】	4年後【H30以降】
	J A出資農業生産法人の設立	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画の作成 関係機関との調整 施設・機械整備の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 法人設立 水稻作業受託開始 機械の整備 育苗施設の効率化検討 人材育成（オペレーターの確保） 	<ul style="list-style-type: none"> 水稻作業受託 機械の整備 育苗施設の整備 人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> 水稻作業受託 人材育成 	→
	直販所・加工施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> 収益調査等による店舗規模、戦略の検討 事業計画の作成 関係機関との調整 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関等の連携 会員数増加への勧誘 人材育成（接客、加工等） 施設整備 	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成 販売促進 		→
指標・目標	項目	事業実施【H26】	1年後【H27】	2年後【H28】	3年後【H29】	4年後【H30以降】
	雇用数の増					
	【設定根拠】	【推計の考え方】				
仕分	【考え方】					
総事業費等	総事業費	千円	（うち26年度	千円）		
	（内訳 国： 県： 千円 市町村： 千円 その他： 円）					
	想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他）	国： 県： 高知県産業振興推進総合支援事業 人的支援：				
	その他：					
備考						

追加項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>JA土佐くろしおが担う地域農業の活性化 《須崎市、中土佐町、津野町》</p>	<p>JA出資農業生産法人を設立し、農作業受託等による地域の農業者の作業軽減及び農地の維持等を図る。 また、「くろしお市」「みのり市」の2つの直販所を移転統合、拡充して、地域農産物や地元食材を活かした惣菜、加工品の販売を行い、農業者の所得向上を目指す。</p>	<p>JA土佐くろしお</p>			<p>◆JA出資農業生産法人の設立及び施設・機械等の整備</p> <p>◆農産物直販所の整備</p>

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
		JA出資農業生産法人の 設立 実施計画の作成	JA出資農業 生産法人設立	機械の整備、人材育成、育苗施設等の改 修等による作業受託面積拡大	 新たな作業受託組織設立 (H25:0社)	1社
		農産物直販所の整備 実施計画の作成	施設・機械の整備 人材育成	運営開始、人材育成 販売促進		